

会報

通常総会議事報告

社団法人 溶接学会 第75回通常総会の議事を下記のとおり報告いたします。

日時 平成19年4月19日(木) 10:00 ~ 11:45

場所 財団法人 日本教育会館7階中会議室 〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-6-2

平成18年度事業報告及び会務報告 (平成18年3月1日 至平成19年2月28日)

平成18年度において本会は次の事業を行った。

I 事業報告

1. 全国大会 (定款第3条1項)

1.1 春季全国大会

平成18年4月12日~14日 東京ビッグサイト会議棟(東京)
研究発表講演124(内、若手日韓シンポジウム10)、特別講演1件、シンポジウム(講演6件)、フォーラム(講演8件)、若手会員のためのイブニングフォーラム
参加者 延約1,000名

1.2 秋季全国大会

平成18年9月20日~22日 北海道大学高等教育機能開発総合センター(札幌)
研究発表講演213件、特別講演1件、論文賞受賞講演2件、フォーラム(講演6件)、技術セッション(講演4件)、ワークショップ(講演4件)、若手会員のためのイブニングフォーラム
参加者 延約1,500名

2. 講習会 (定款第3条1項)

2.1 平成18年度溶接技術基礎講座(第34回)

会期 平成17年6月8日、9日
会場 日本教育会館(東京)
受講者 29名

2.2 平成18年度溶接工学夏季大学(第55回)「溶接現象の正しい理解とその実践的活用」

会期 平成18年7月18~19日
会場 大阪大学接合科学研究所荒田記念館
受講者 60名

3. 刊行 (定款第3条3項)

3.1 溶接学会誌75巻2号~76巻1号(8冊)

主な内容 資料等68篇、データシート7件、展望1篇

3.2 溶接学会論文集24巻2号~25巻1号(4冊)(25巻1号の19件からWEBへ移行)

主な内容 研究論文50篇

3.3 全国大会講演概要集 第78集および第79集(2冊)

3.4 平成18年度溶接工学夏季大学教材「溶接現象の正しい理解とその実践的活用」

3.5 Mate 2007 13th Symposium on "Microjoining and Assembly

Technology in Electronics" 論文集(マイクロ接合研究委員会)

3.6 溶接構造シンポジウム2006論文集

4. 研究活動 (定款第3条1項)

4.1 研究推進部会(小溝裕一部会長)

2回の会合を開催し、各研究委員会の活動状況の把握及び調整並びに研究委員会の活性化を図るとともに、特別研究会1件が終了の成果報告シンポジウムを開催し、特別研究会1件が継続、1件が発足、アドホック研究会が1件及びミニ研究会2件が終了、2件の学会記念基金助成委員会が活動し及び継続を理事会に答申した。WEB化への対応方針について検討した。

(1) 平成18年春季及び秋季大会のフォーラムを開催した。

春季全国大会「各種産業分野における異種材料接合の現状と課題」(界面接合研究委員会)

秋季全国大会「溶接プロセスの高機能化に向けた新しい展開、アーク溶接はどこまで進むか」(溶接法研究委員会)

(2) 特別研究会「建築鉄骨における溶融亜鉛メッキ割れに関する研究」(中込忠男主査)

昨年度に引き続き、建築鉄骨の柱梁溶接接合部におけるH形断面梁の梁ウェブに存在するスカラップ底から発生する溶融亜鉛メッキ時の割れについて、主に数値解析を実施した。解析にあたっては、めっき抜き用の丸孔径の大きさ、孔の位置及び柱梁の構成部材の厚さをパラメーターとした。更に、冷間成形角形鋼管について角部に注目しためっき割れの再現実験を実施し、その要因究明のための追加実験、分析を実施中である。平成18年度の委員会は合計8回開催した。

(3) 特別研究会「TIG溶接並みの高品質溶接を可能とする次世代MIG溶接プロセスの開発・実用化」(平岡和雄、平田好則両主査)

H18年度は特別研究会を2回(6月、10月)開催した。特許情報と国際情報について紹介された。さらに、重工業分野と橋梁・鉄骨分野におけるTIG/MIG溶接の適用例、TIG溶接の高速化、高能率化について紹介が行われた。これらにより、TIG/MIG溶接の適用例について現状の技術動向・トレンドが議論された。

(4) アドホック研究会「ファイバーレーザSMART加工研究会」(塚本雅裕主査)

研究会1回、準備会議1回、「ファイバーレーザ加工の現状と今後の展開」シンポジウム1回、シンポジウム準備会議3回、開催した。また、レーザ加工研究調査を6回行った。ファイバーレーザ開発メーカー、レーザ加工機開発メーカー及びレーザ加工研究機関を中心にレーザ加工の現状を調査し、これからのレーザ加工(レーザSMART加工)について検討

した。

- (5) ミニ研究会「ナノ構造デザインにおける論理と直観」(高原 渉主査)

溶接・接合分野における第一原理計算手法の適用可能性を調査するとともに、各委員の研究分野の状況も踏まえ、量子力学に基づく論理的計算手法を利用したナノ構造デザインの可能性と限界性、さらには今後何が必要とされていくのかを考察した。今秋季大会等において成果報告を行う。

- (6) ミニ研究会「溶接問題の解析における大規模高速計算機の活用」(芹澤 久主査)

近い将来に期待される大規模高速計算機を活用し、現在は解析が困難な実構造物全体を対象として溶接問題を解析するための必要事項を検討するため、平成18年5月、8月、平成19年2月の計3回の研究会を行い、大学におけるシーズ、ソフトウェアメーカの現状、ならびに企業におけるニーズを明らかにし、数年内における計算機の活用方法への指針を確立するとともに、今後も相互に連携し研究会を開催することを決定し、本ミニ研究会の活動を終了した。

- (7) 溶接学会記念基金助成活動(川上博士、武市祥司各主査)(参照5.2項)

- ① 海外版基礎セミナー(北京、中国)
② 海外版基礎セミナー(バンコック、タイ)

4.2 溶接構造研究委員会(南二三吉委員長)

会合名	開催日	開催地	出席者数	内 容
第170回	18.3.9	東 京		研究報告 5件
第171回	18.5.30	東 京	26	研究報告 5件
第172回 シンポジウム	18.11.13~14	大 阪	154	溶接構造シンポジウム2006同時開催
第173回	19.2.1~2	愛 媛	46, 35	研究報告 5件

4.3 溶接法研究委員会(中田一博委員長)

会合名	開催日	開催地	出席者数	内 容
第194回	18.6.24	東 京	40	研究報告 6件
第195回	18.8.2~3	大 阪	55, 50	研究報告 12件
第196回	18.11.15~16	名古屋	37, 30	研究報告 7件 見学会
第197回	19.2.8~9	東 京	49, 36	研究報告 12件

4.4 溶接冶金研究委員会(粉川博之委員長)

会合名	開催日	開催地	出席者数	内 容
第184回	18.5.10	東 京	23	研究報告 6件
第185回	18.8.4	大 阪	28	研究報告 6件
第186回	18.10.19~20	韓 国	62	研究報告 12件見学会(日韓合同開催)
第187回	19.2.8~9	東 京	49, 36	研究報告 12件

4.5 溶接疲労強度研究委員会(森 猛委員長)

会合名	開催日	開催地	出席者数	内 容
第209回	18.4.19	東 京	26	研究報告 4件
第210回	18.7.11	東 京	24	研究報告 4件
第211回	18.10.2	仙 台	16	研究報告 1件 見学会
第212回	19.1.15	東 京	25	研究報告 4件

4.6 高エネルギービーム加工研究委員会(阿部信行委員長)

会合名	開催日	開催地	出席者数	内 容
第52回	18.6.6	東 京	26	研究報告 6件
第53回	18.11.24	大 阪	23	研究報告 3件 見学会
シンポジウム	18.10.12	東京	116	「ファイバーレーザー加工の現状と今後の展開」
第54回	19.2.19	東京	26	研究報告 6件

4.7 軽構造接合加工研究委員会(菅 泰雄委員長)

会合名	開催日	開催地	出席者数	内 容
第73回	18.6.8	東 京	37	研究報告 6件
第74回	18.9.12	大 阪	32	研究報告 4件
第75回	18.11.30	名古屋	27	研究報告 4件 見学会
第76回	19.1.18	東 京	22	研究報告 6件

4.8 溶接アーキ物理研究委員会(平田好則委員長)

会合名	開催日	開催地	出席者数	内 容
第162回	18.5.10	東 京	19	研究報告 4件
第163回	18.8.2~3	大 阪	55, 50	研究報告 12件
第164回	18.10.31	つくば	33	研究報告 7件 見学会
第165回	19.2.2	東 京	22	研究報告 6件

4.9 マイクロ接合研究委員会(日置 進委員長)

会合名	開催日	開催地	出席者数	内 容
第81回	18.5.26	東 京	75	研究報告 6件
第41回分科会	18.7.7	東 京	102	研究報告 3件 特別講演 1件
第82回	18.9.8	東 京	64	研究報告 7件
第42回分科会	18.10.20	東 京	61	研究報告 6件
セミナー	18.11.10	東京	182	マイクロ接合セミナー「鉛フリーはんだ再考」
第83回	18.12.8	東 京	69	研究報告 7件
シンポジウム	19.2.1~2	横 浜	602	Mate2007シンポジウム

4.10 界面接合研究委員会(渡辺健彦委員長)

会合名	開催日	開催地	出席者数	内 容
第72回	18.5.19	東 京	21	研究報告 6件
第73回	18.10.6	東 京	29	研究報告 5件 特別講演 1件
第74回	19.1.26	東 京	22	研究報告 6件

5. 国内活動(定款3条項4)

- 5.1 日本溶接会議(JIW)の活動援助を行った。

- 5.2 第1回溶接学術連合講演会について、日本溶接協会並びに産報出版(株)との平成19年度共同開催を準備した。

- 5.3 共催、協賛、その他(承認順)

日本学術会議材料工学研究連絡委員会、同土木工学・建築学委員会、同機械工学委員会、材料戦略委員会、金属連合協議会、生産学術連合会、電子情報技術産業協会、日本技術者教育認定機構、日本工学会、日本溶接協会、日本非破壊検査協会、その他関係学協会の活動に協力した。

- (1) 協賛：日本溶接協会「第37回原子力国内シンポジウム、原子力発電設備構造材料の経年化」(06.07)

- (2) 協賛：日本時計学会「2006春季研究会、ヒューマンロボット nuvo の開発」(03.17)

- (3) 協賛：腐食防食協会「第40回技術セミナー」(06.26~27)

- (4) 協賛：日本機械学会「第16回設計工学・システム部門講演会、未来社会を支えるものづくり(設計システムから)」(11.15)

- (5) 協賛：自動車技術協会「第4回全日本学生フォーミュラ大会」(09.06~09.09)

- (6) 協賛：日本塑性加工学会「第57回連合講演会」(10.31~11.02)

- (7) 協賛：日本化学工学会「第11回材料セミナー、プラントのリスク評価と検査有効度」(06.15)

- (8) 共催：EcoDesign 2006 Asia Pasific Sympojium オrganイズドセッションの開催：エコデザイン学会連合「環境調和型製品設計に関する学術講演会」(12.11~12)(講演者謝金は開催提案者負担、会場・機材・印刷はEco負担)

- (9) 協賛：日本材料学会「第26回疲労講座、疲労の基礎と実際」(06.11.15)

- (10) 協賛：日本鉄鋼協会「第190回西山記念講座、窒素が拓く鋼の新しい展開とその利用」(06.11.22)

- (11) 後援：神奈川科学技術アカデミー「教育講座、塑性加工基盤技術」(9月、6日間)

- (12) 協賛：日本高圧力技術協会「技術セミナー、失敗知識デ

- ータベースの活用」(06.07.13～14：東京，09.06：大阪)
- (13) 後援：日本溶接協会「熱切断の品質と安全講習会=ガス，プラズマ，レーザ切断の勘所」(08.25)
- (14) 協賛：日本高圧力技術協会「技術セミナー，第5回圧力機器及び配管におけるガスケットフランジ締結体のシーリングテクノロジー」(08.29)
- (15) 協賛：日本高圧力技術協会「技術セミナー，AE法適用による構造物のグローバル診断と試験技術者の技量認証」(09.15)
- (16) 協賛：DV-X研究協会(岡山理科大化学科)「DV-X分子軌道計算講習会」(09.08)
- (17) 協賛：製造科学技術センターIMSセンター「シンポジウム，知的生産IMSシステムシンポジウム」(06.20)
- (18) 協賛：溶接接合工学振興会「第17回セミナー，溶接・接合技術の次世代への継承と将来への発展」(10.26)
- (19) 協賛：強化プラスチック協会「51st FRP CON-EX2006講習会」(09.28～29)
- (20) 協賛：日本材料学会「第36回初心者のための有限要素法講習会」(08.2～3，08.24～25)
- (21) 協賛：日本材料学会「第4回初心者のための疲労設計講座」(06.06～07)
- (22) 協賛：日本材料学会「第3回ノートパソコンでできる原紙レベルのシミュレーション入門講座」(09)
- (23) 協賛：日本材料学会「第28回疲労シンポジウム」(10)
- (24) 協賛：自動車技術会「シンポジウム，ボディー構造形成技術の最前線ー多目的満足化設計と材料・成形・接合技術の新展開」(07.19)
- (25) 協賛：腐食防食協会「第156シンポジウム，配管の腐食・劣化とその管理」(10.19)
- (26) 協賛：腐食防食協会「第41回技術セミナー，電子機器部品の腐食と対策」(08.24)
- (27) 協賛：日本高圧力技術協会「第4回技術セミナー，事故から学ぶリスクマネジメント，構造的災害事故はなぜ起こり，防止できないのか」(10.11～12)
- (28) 協賛：NDNC2007実行委員会「New Diamond & nano Carbons」(07.05.28～31)
- (29) 協賛：プラズマ・核融合学会「第19回専門講習会，レーザ・プラズマ複合技術の基礎と最前線」(12.8)
- (30) 協賛：日本材料学会「第22回材料・構造信頼性シンポジウム」(12.05～06)
- (31) 後援：日本溶接協会「原子力構造危機の材料，設計，施工，検査，維持に関する講習会」(12.05～06)
- (32) 協賛：日本材料学会「第11回フラクトグラフィシンポジウム」(11.30)
- (33) 協賛：レーザ協会「第30回セミナー」(11.10)
- (34) 協賛：土木学会JCROSSAR2007「第6回構造の安全性・信頼性に関する国内シンポジウムJCROSSAR2007」(07.06.20～22)
- (35) 協賛：日本機械学会「第14回機械材料・材料加工技術講演会(M&P2006)」(11.25～26)
- (36) 協賛：エコデザイン学会連合「エコデザイン2006アジア・パシフィック・シンポジウム」(12.11～12)
- (37) 協賛：日本鋼構造協会「鋼構造シンポジウム2006」(11.16～17)
- (38) 後援：軽金属溶接構造協会「シンポジウム，アルミニウム合金の摩擦攪拌継手の諸特性とその施工法の動向，第2回FSW小委員会研究活動成果報告会」(11.21)
- (39) 協賛：エレクトロニクス実装学会「第16回マイクロエレクトロシンポジウムMWS2006」(10.26～17)
- (40) 協賛：腐食防食協会「第53回材料と環境討論会」(9.27～29)
- (41) 協賛：日本機械学会「機械の日・機械週間」(08.1～7) 8月7日制定記念式典(於東大)：中川会長出席
- (42) 委員委嘱：日本溶接協会「J-ANB管理委員会(IIW資格日本認証機構)」(第4期：2006年度及び2007年度)：中川会長
- (43) 後援：神奈川科学技術アカデミー「平成18年度KAST教育講座，表面・微量分析の基礎，実機測定と解析データの読み方」
- (44) 後援：日本圧接協会「新しい技量資格者認証制度に関する説明会」(09.29,10.06・13・20)
- (45) 協賛：日本鉄鋼協会「技術者教育への新たな取り組みとその将来展望」(12.08)
- (46) 協賛：レーザ加工学会「第67回レーザ加工学会講演会」(12.11～12)
- (47) 協賛：日本金属学会「原子炉材料の照射損傷，長寿命化への対応」(11.10)
- (48) 協賛：AEPSE2007「第6回アジア・ヨーロッパプラズマ表面工学国際会議」(07.09.24～28)
- (49) 後援：日本溶接協会「第38回原子力国内シンポジウム，原子力立国に向けた材料・機器信頼性研究開発の役割と今後の展望，原子力研究委員会50執念記念」(07.02.07)
- (50) 後援：日本溶接協会「LMPシンポジウム2007，輸送機器のレーザ加工」(07.021～02)
- (51) 協賛：日本塑性加工学会「第39回塑性加工春季講演会」(07.05.25～27)
- (52) 協賛：DV-Xa研究会「DV-Xa分子軌道計算講習会」(07.01.24)
- (53) 協賛：日本高圧力技術協会「HPIセミナー，第7回エネルギー貯槽等技術基準と安全性」(07.02.08～09)
- (54) 協賛：日本材料学会「JCOM-36，材料・構造の複合化と昨日かに関するシンポジウム」(07.03.08～09)
- (55) 協賛：日本材料学会「第43回X線材料強度に関する討論会，電子デバイスにおける応力問題の現状と対策」(12.1)
- (56) 協賛：日本保全学会「第2回セミナー，保全の高度化と新しい検査のあり方」(11.07)
- (57) 協賛：電子情報産業協会「JISSO PROTECフォーラムジャパン，差別化の要ものづくりを支える」(10.04～06)
- (58) 協賛：日本非破壊検査協会「第10回表面探傷シンポジウム，人工物の経年劣化現象にかかわる表面センシングと評価技術」(07.01.25～26)
- (59) 協賛(technical cosponsorship)：IWJC-Korea2007(韓国

- 溶接学会)「International Welding/Joining Conference-Korea 2007」(07.05.10-12)
- (60) 協賛：日本ガスタービン学会「セミナー，ガスタービンの最新技術動向と保守管理技術」(07.01.23～24)
- (61) 協賛：溶接接合工学振興会「特別講演会，科学技術コミュニケーターとしての技術士，日本のロボット技術の将来」(11.30)
- (62) 共催：日本アイソトープ協会「第44回アイソトープ・放射線研究発表会」(07.7月) 分担金廃止
- (63) 委員推薦依頼：IIW 第5回アジア太平洋地域会議（オーストラリア）：Internaional Advisory Committee：西本特別幹事，地域会議フォーラム：小溝理事（07.03.5～09）
- (64) 協賛：日本高圧力技術協会「第5回 HPI セミナー，リスクベースメンテナンスの基礎と応用」(07.02.19)
- (65) 協賛：日本計算工学会「第12回講演会」(07.02.22～24)
- (66) 共催：日本学術会議総合工学委員会「安全工学シンポジウム」(07.07.05～06) 分担金：2万円
- (67) 協賛：日本非破壊検査協会「第38回，応力・ひずみ測定と強度評価シンポジウム」(07.01.11～12)
- (68) 協賛：日本非破壊検査協会「第14回，超音波による非破壊評価シンポジウム」(07.01.30～31)
- (69) 協賛：日本非破壊検査協会「安心・安全な社会を築く先進比破壊計測技術シンポジウム，新素材及びその製品の非破壊評価技術」(07.01.30～31)
- (70) 協賛：腐食防食協会「RoHS 指令の施行に伴う腐食対策への取り組み」(07.02.28)
- (71) 協賛：腐食防食協会「マイクロセル防食の整理と問題」(07.01.25)
- (72) 協賛：腐食防食協会「高温耐環境性材料システム研究開発の最前線」(07.01.18)

5.4 金属関係及び機械系学協会連絡委員会に参加して各種連絡を行った。

5.5 次の学協会と機関誌を交換し研究連絡，情報交換を行った。

学協会名	誌名	学協会名	誌名
軽金属学会	軽金属	日本建築学会	建築雑誌
軽金属溶接構造協会	軽金属溶接	〃	Journal of Asian Architectur and Building Engineering
高温学会	高温学会誌		
高圧ガス保安協会	高圧ガス	日本高圧力技術協会	圧力技術
電気学会	電気学会誌	日本鋼構造協会	JSSC
電気製鋼研究会	電気製鋼	日本接着学会	日本接着学会誌
土木学会	土木学会誌	日本船舶海洋工学会	日本船舶海洋工学会誌
〃	土木学会論文集		KANRIN（威臨）
日本海事協会	日本海事協会誌	〃	日本船舶海洋工学会論文集
日本機械学会	日本機械学会誌	日本鉄鋼協会	鉄と鋼
日本橋梁建設協会	虹橋	〃	ふえらむ
日本金属学会	まてりあ	〃	ISIJ International
日本溶射協会	溶射	日本非破壊検査協会	非破壊検査
日本溶接協会	溶接技術		

6. 国際活動（定款3条項4）

6.1 国際溶接学会（IIW）関連

- ① JIOW の活動を支援して年間を通じ IIW の日常活動及び年次大会（第59）（カナダ国ケベック，8月27日～9月2日）を

支援し，参加した。参加者は39カ国380名，日本からは75名（含同伴）。

- ② 地域会議(タイ国バンコック，11月21日～22日)に日本から10名が参加した。

6.2 第8回国際シンポジウム（8WS）の平成20年11月16日～18日（京都）開催を決めた。

6.3 アジア溶接連盟（AWF）の活動及び総会2回に参加した。北京（中国，5月17日）及びバンコック（タイ，11月24日）に日本から各4名，9名が参加した。また，各開催国の要請により，日本・アジア若手セミナーが行われた。（参照5.2項）

6.4 次のとおり機関誌を交換し，研究情報の交流を推進した。

誌名	国名
1 Australian Welding Research	オーストラリア
2 Revista Soldadura	アルゼンチン
3 Schweiss-& Prufung Technik	オーストリア
4 Reveu de la Soudure - Lastijdschrift	ベルギー
5 Leurotest Technical Bulletin	〃
6 Metalurgia	ブラジル
7 Revista da Soldagem	〃
8 Soldagem & Inspeccao	〃
9 Canadian Welder & Fabricater	カナダ
10 Zvaranie	チェコ
11 Welding News	〃
12 Hitsaustekniikka Svetsteknik	フィンランド
13 Soudage et Techniques Connexes	フランス
14 Bulletin Singanaletique	〃
15 Sciaky	〃
16 Schweissen und Schneiden	ドイツ
17 Schweisstechnik	〃
18 Wissenschaftliche Zeitschrift	〃
19 Indian Welding Journal	インド
20 Journal of the Association of Engineers	〃
21 Rivista Italiana della aldatura	イタリア
22 Korean Scientific Abstracts	韓国
23 大韓金属学会誌（Journal of KMM）	〃
24 大韓溶接学会誌	〃
25 Metals and Materials	〃
26 Korean Welding Society	〃
27 Electronic Materials Letters	〃
28 Lastechniek	オランダ
29 Przegląd Spawalnictwa	ポーランド
30 Biuletyn Instytutu Spawalnictwa	〃
31 Polish Engineering	〃
32 Technologia Qualidade	ポルトガル
33 Buletin IPI	ルーマニア
34 Serie de Metalugia	〃
35 Sudura	〃
36 Revista de Metallugia	スペイン
37 Revista de Soldadura	〃
38 Soldadura y Tecnologias de Union	〃
39 Svetsaren	スウェーデン
40 Schweisstechnik Soudure	スイス

41	Welding & Metal Fabrication	英国
42	Welding Review	〃
43	Metals Technology	〃
44	Welding International	〃
45	Welding Journal	米国
46	Welding Research Abroad	〃
47	WRC Bulletin	〃
48	CA Selects (Ceramic Materials)	〃
49	Avtomaticeskaya Svarka	ウクライナ
50	Strength of materials	〃
51	All - Union Monthly of Engineering Physics	〃
52	Zavaranie svarovani	スロベニア
53	Varilna Tehnika	〃
54	Metallic Materials	〃
55	Science in China	中国
56	地質学報	〃
57	金属学報	〃
58	鋼 鉄	〃
59	Transactions of the China Welding Institution	〃
60	冶金分析	〃
61	材料科学	〃
62	China Welding	〃

II. 会 務 報 告

1. 第74回通常総会

日 時 平成18年 4月12日(木)

開 会 午前10時00分 開 会 午前11時45分

場 所 東京ビッグサイト会議棟

東京都江東区有明 3-21-1

議決権を有する者：理事 20名（うち 5 名は評議員と兼任）

評議員 147 名

出 席 33名（理事14名，評議員24名）

委任状 87名（理事 4名，評議員83名）

合 計 120 名（総数 162 名）

監 事

出 席 松村 洋

議 事

① 平成17年度事業及び会務報告の件 承認

② 平成17年度収支決算報告の件 承認

③ 監査報告 承認

④ 平成18・19年度理事・監事選任の件 承認

⑤ 平成17年度事業計画の件 承認

⑥ 細則改正の件 承認

⑦ 平成18年度収支予算の件 承認

⑧ 平成18・19年度代議員報告

⑨ 特別員推薦
大嶋健司，荒谷 雄

⑩ 表彰
溶接学会貢献賞
荒木孝雄，大城桂作

溶接学会業績賞

寺崎俊夫，平田好則，粉川博之

平成17年度佐々木賞

三田常夫，中西保正

平成17年度溶接学会論文賞並びに論文奨励賞

溶接学会論文賞

清水弘之，伊藤崇明，黒川剛志

内原正人，福井清之

溶接学会論文奨励賞

宋 宇鉉，三上欣希，孕石泰文

平成17年度田中亀久人賞

佐久間正剛，坪井竜介，浅井 知

溶接学術振興賞

篠田 剛

妹島賞

石出 孝

溶接学会研究発表賞

平成17年度春季全国大会（4 件）

小薄孝裕，崔 靈，中島 清孝，辻村晃介

平成17年度秋季全国大会（5 件）

北村康希，松坂壮太，朴勝煥，金永坤，日野孝紀

溶接学会ベストオーサー賞（3 件）

中西保正，朴 勝煥，勘定義弘

溶接学会シンポジウム賞

Mate 2006 優秀論文賞

池田 徹，宍戸信之，宮崎則幸

Mate 2006 研究奨励賞

田邊 剛，大田皓之

軽構造接合加工シンポジウム最優秀論文賞

池田 賢弘

溶接学会奨学賞

北海道支部：中川利基

東北支部：熊谷俊秀

東部支部：尾畑賢一，北原敏希，湯澤大樹

関西支部：梅下英孝，今枝裕貴，坂本昌，岩谷信吾，
武田泰明，黒川博徳

東海支部：東山実樹，安田祐智

中国支部：井上 剛

四国支部：曾我部健太郎

九州支部：杉山智志，永田幸伸

⑪ 溶接学会フェロー

神戸良雄，豊貞雅宏，松山欽一，大重広明，
松井仁志，中込忠男，竹本 正，武藤陸治，
浅井 知，田中 治

⑫ 溶接学会記念基金その他の寄付金の受入れ状況及び活用状況報告

⑬ 感謝状贈呈

野村博一特別員・溶接学会フェロー（溶接学会記念基金への寄付）

牛尾誠夫溶接学会フェロー（溶接学会記念基金への寄付）

北陸支部（平成17年度秋季全国大会開催担当）殿

2. 理事会（定例7回）

本年度の主な議題・決議事項

(1) 溶接学会活性化について

学会の活性化に向けて、企画委員会を中心に、将来展望と活動目標を検討する活動を実施し、学会構成員の評価向上、溶接（高度）技術者教育、支部との連携のあり方、賛助会員へのサービスのあり方、などアクションプログラムの効果を引き続き検討するとともに、会勢増強、活動資金獲得に向けた活動の推進を図った。

(2) 財政改善について

逼迫した財政状態改善のために、人件費、事務費の節減、会誌印刷費のコスト低減など支出を引き締めるとともに、講習会、広告料など会費外収入の増加を図り逐次実行に移した。

(3) 会勢の拡張について

正員の増強、学生に対する啓発及びサービス活動の強化、そして財源の安定化と学会活動の浸透を図った。

(4) 特別研究活動の推進について

研究推進部会の提案に基づいて、特別研究会の設置及び活動の推進について審議した。特別研究会2件、アドホック研究会1件、ミニ研究会2件が活動し、アドホック研究会が成果報告のシンポジウムを開催した。

(5) 溶接連合講演会

本会、日本溶接協会、産報出版の合同企画にて、第1回溶接連合講演会を本会の平成19年度 春季全国大会第3日目開催実施に向けて準備した。

3. 業務委員会活動

3.1 企画委員会（平岡和雄委員長）

学会の活性化に向けて、前年度に引き続き、学会活動の活性化および財政基盤強化を目指した21世紀における溶接研究・技術の将来展望と溶接学会ビジョン（平成14・15年度提案 MeRIT-21ビジョン）の実務活動を展開した。この活動の中で、学会会員のメリット創出、会勢増強、財政基盤強化に向けた活動を最重要課題として検討し、学会情報発信、溶接技術者教育、研究委員会の活性化、学会支部や日本溶接協会との連携のあり方など、アクションプログラム等を引き続き推進した。

溶接情報発信強化関連としては、査読システムの電子化、平成19年1月からの学会論文集のWEB発刊を開始した。また溶接学会ホームページの全面改訂作業を開始し、日本溶接協会情報センターとの協力・連携した情報発信へ踏み出した。

また溶接研究・技術者の交流深化関連として、日本溶接協会-産報出版社-溶接学会の連合講演会を初めて具体化し、H19春季全国大会時に合わせて実施する。また国際交流推進として、8th 国際溶接シンポジウム（8WS）の開催（H20.11 京都）を決定し、実行委員会の設置した。

講習会等の啓蒙活動関連として、夏期大学、基礎講座の内容を見直して、実施するとともに、IIW 特認ポイント制の整備を完了し、実施した。

研究委員会活動関連としては、研究委員会の海外連携開催の実施や長期的してから研究委員会資料電子化を実施して、学術データ蓄積を進めた。また2件の特別研究会、1件のアドホック委員会及び2件のミニ研究会が活動した。

3.2 溶接情報化委員会（南二三吉委員長）

年度内3回の委員会および1回のWGを開催し、本会の活動の情報化に関する諸検討を実施した。主な活動は以下の通りである。

- (1) 本委員会の目的、業務内容、組織、などを記述した委員会規定を作成した。
- (2) 論文集、全国大会講演概要集に加えて、学会誌も創刊号からJ-stage（新技術開発事業団）においてアーカイブ化されることになったのに伴い、本会HPにリンクするJ-stageでの本会電子出版物の公開方針を以下のように定めた。
 - ・溶接学会論文集：発刊後すぐに公開（会員、非会員とも無料）
 - ・溶接学会誌：発刊後3年後に公開（会員は無料、非会員は有料）
 - ・全国大会講演概要集：全国大会終了後すぐに公開（会員、非会員とも無料）
- (3) 本会HPのコンテンツ、レイアウト、リンク等の見直しを行い、HPをリニューアル公開した。新装HPにおいては、本会への論文投稿、全国大会発表、各種出版物、イベント・研究会活動、入会案内などの情報を見つけやすくすることを基本方針としている。
- (4) H19年1月から、本会HPにおいてWeb論文を本格発刊した。
- (5) 本会の出版物を外部機関のHPから閲覧する際の基本方針を次のように定めた。

- ・外部機関のHPから学会HP、研究委員会HPへのリンクを設けて本会出版物を閲覧することを認める。
- ・会員が本会に投稿した著作物を会員所属機関のHPにおいて掲載する場合は、その旨を情報化委員会に連絡いただき、承認を得る。その場合、該当機関外部からの閲覧ができないことを条件とする。
- ・論文集、全国大会講演概要集、学会誌アーカイブについてはJ-stageとのリンクを図るようにしていただく。
- ・本会の電子出版物の転載については、情報化委員会で承認を得る。

- (6) J-stageにおける購読機関向け利用統計の導入、cross web serviceについて、参加することにした。

また、日本溶接協会で溶接情報センターが公開されたことに伴い、情報センターへの情報提供に関する打合せ会合を3回開催し、学会が協会と協調して情報化推進にあたることで合意した。具体的な協調の仕方については、今後協議していく。これに関連して、溶接管理技術者2級研修会使用教本の改定が進行中であるが、この教本内容を溶接情報センターにおいて電子化して公開し、協会・学会相互の会員が閲覧できるようにすることで合意した。

3.3 編集委員会（中田一博委員長）

年度内6回の委員会及び分野別担当者会議を開催し、溶接学会誌及び溶接学会論文集の編集並びにそれぞれの刊行に関する業務を実施した。論文集については、平行してWEB論文集の発刊の試行を行い、平成19年1月より印刷版論文集の発刊を廃

止し、全面的に WEB 論文集発刊に 移行した。また、WEB 論文集発刊に伴い、投稿規定・執筆要領の改定及び掲載料の改訂を行った。

溶接学会誌の表紙デザインを公募し、平成19年1号から表紙デザインを新規デザインに変更した。

国立情報学研究所（NII）の電子図書館サービス（NACSIS-ELS）事業に引き続き参加し、溶接学会誌は創刊号からを対象として発行日から3年経過後に同サービスにて公開した。また溶接学会論文集は創刊号からを対象として発行直後から同サービスにて公開した。

科学技術情報発信・流通総合システム（J-Stage）への参加に伴い、溶接学会論文集は発行直後から同サービスにて引き続き公開した。

英文誌 STWJ（Science and Technology of Welding and Joining）の共同編集に、引き続き参加した。

3.4 論文査読・審査委員会（粉川博之委員長）

平成18年5月31日に新旧合同の委員会を開催した後は、全委員が集まる定例委員会は開催せず、昨年度試行を始めたインターネット利用による電子査読委員会を本格実施し、投稿論文査読開始時における査読者の選任およびその審議・承認手続きと投稿論文の査読及び掲載可否決定の審査をインターネット上で随時迅速に行った。この結果、論文投稿から査読完了（受理日）までの期間が6ヶ月以内の論文が全論文の96%以上、4ヶ月以内の論文約70%を達成した。最短のものでは19日で査読完了となり、大幅な査読期間短縮の成果が出ている。

英文誌 STWJ（Science and Technology of Welding and Joining）の共同編集と STWJ-JWS co llaboration 推薦投稿を実施し、昨年度と同じ年間10件の溶接学会論文を STWJ 誌へ推薦した。

3.5 全国大会運営委員会（藤本公三委員長）

- (1) 年度内4回の委員会を開催し、平成18年度春季・秋季全国大会および平成19年度春季・秋季全国大会の企画・運営について協議決定した。
- (2) 講演概要集第78集および第79集を編集発行した。
- (3) 平成18年度秋季および平成19年度春季全国大会プログラムを編成した。
- (4) 全国大会研究発表講演の「溶接学会研究発表賞」審査を平成18年度春季及び秋季大会にて実施した。
- (5) 春季大会にて産業界の有識者による特別講演を実施した。
- (6) 国立情報学研究所（NII）の電子図書館サービス（NACSIS-ELS）に全国大会講演概要集掲載に引き続き参加し実施した。
- (7) 科学技術情報発信・総合流通システム（J-Stage）を利用した、インターネットによる全国大会研究発表・原稿提出・J-Stageにて公開を実施した。

3.6 溶接教育委員会（平田好則委員長）

- (1) 年度内2回の委員会を開催し、本会の普及・教育活動に関する課題について検討した。
- (2) 平成18年度溶接技術基礎講座を開催した。（前掲）
- (3) 平成18年度溶接工学夏季大学を開催した。（前掲）
- (4) 第43回工業高校教員のための溶接工学夏期講座を検討した。

- (5) IIW 第 XIV 委員会等と連絡し、各国と溶接教育について情報を交換した。
- (6) 国際溶接学会（IIW）溶接技術者資格制度特認コースの運用実施について、日本溶接協会と連携作業した。
- (7) 全国の大学・高専に対して、IIW 特認コースについてのアンケートに基づき、IIW シラバスと授業科目の関連や溶接基礎教育などに関して検討した。
- (8) 溶接学会各支部や研究委員会、日本溶接協会が企画・実施した講習会やセミナー、シンポジウムの IIW 履修ポイントについて、IIW 特認コース WG を通してアナウンスした。
- (9) 溶接技術者・溶接技能者の育成のための学協会と教育機関（大学・高専・工業高校）の連携について検討した。
- (10) IIW 特認コースについて本誌において解説し、大学・高専の授業科目の IIW 履修ポイントへの読み替えなどを検討した。

3.7 国際交流委員会（村川英一委員長）

- (1) 国際交流の在り方、国際戦略について検討した。
- (2) 海外名誉員、推薦会員（Guest Member）について検討した。
- (3) 日米、日韓、及びヴェトナム等学術交流協定に基づいた協力事項を検討した。
- (4) 各国からの依頼事項、照会事項を処理した。
- (5) アジア溶接連盟（AWF）の日常活動及び総会に参加した。
- (6) 第8回国際シンポジウム（8WS）開催について理事会に答申した。

3.8 科学研究費委員会（平岡和雄委員長）

文部省科学研究費分科細目の変更に係る問題の検討及び科学研究費の申請に係る事項を処理した。機関別認証評価に係わる専門委員候補者の推薦について、大学評価・学位授与機構からの依頼により、人選を理事会に答申した。

専門委員推薦依頼について、最高裁判所事務総局行政局長からの依頼により、人選を理事会に答申した。

3.9 溶接用語委員会（池内建二委員長）

- (1) JIW 第6委員会と合同で1回の委員会を開催し、IIW 第 VI 委員会の活動を支援した。
- (2) 日本溶接協会規格委員会、JIS 溶接用語改訂準備委員会の活動に協力した。
- (3) 溶接・接合用語辞典の発刊を検討した。

4. 若手会員の会（佐藤 裕委員長）

4.1 若手会員のためのフォーラム（共催：(財)溶接接合工学会振興会）

- (1) 春季全国大会フォーラム，懇親会
主題：Forum of Japanese and Korean Young Researchers
日時：平成18年4月13日（木）17:15～18:40
場所：東京ビックサイト（春季全国大会開催会場）会議棟 608 会議室
参加者：約20名
- (2) 秋季全国大会フォーラム，懇親会
主題：若手の研究ポスターセッションと交流会

日時：平成18年9月21日(水) 18:00～19:30
場所：北海道大学高度教育機能開発総合センター 3階
E311会議室
参加者：約45名

4.2 若手会員のための見学会・シンポジウム・セミナー

- (1) 見学会
場所：(株)日本製鋼所室蘭製作所
日時：平成18年9月23日(土) 9:00～12:00
参加者：14名
- (2) 第2回日本－韓国若手溶接研究者合同シンポジウム
主題：The 2nd JWS-KWS Joint Symposium of Young Researchers (日韓で講演5件ずつ計10件)
日時：平成18年4月13日(水) 14:00～16:45
場所：東京ビックサイト (春季全国大会開催会場) 会議棟608会議室
参加者：約30名
- (3) 海外溶接基礎セミナー (記念基金助成活動「グローバルネットワークの形成プロジェクト」と共催)
主題：Sino-Japanese Young Researchers Forum (講演12件)
日時：平成18年5月18日(木) 8:30～17:10
場所：Beijing Shihua Hotel (Beijing, China)
参加者：約20名
- (4) 海外溶接基礎セミナー (記念基金助成活動「グローバルネットワークの形成プロジェクト」と共催)
主題：Advance Technology in Welding Work (講演10件)
日時：平成18年11月24日(金) 9:00～12:00
場所：BITEC (Bangkok, Thailand)
参加者：約80名

4.3 広報および情報交換

- (1) 溶接学会誌「若手会員の会 自由編集ページ」に、運営委員会、イブニングフォーラム、見学会の報告等を掲載した。
- (2) 溶接学会誌「スポットライト－若手の特集記事－」として、第75巻第4号に「各種継手の溶接プロセスシミュレーションモデル (大阪大学 宮坂史和氏)」, 第75巻第8号に「コージェネ発電用ガスタービンにおける動翼の寿命評価の研究 (日立造船 田中智大氏)」を掲載した。
- (3) ホームページに活動報告、行事案内等を掲載した。
- (4) メーリングリスト (E-mail) による情報交換を促進した。
有効登録者数 約225名 (平成19年2月28日現在)
E-mail 投稿数 約120通 (平成18年3月1日から平成19年2月29日まで)

4.4 若手会員の会運営委員会 (佐藤 裕委員長)

計2回の運営委員会を開催し、活動方針と企画について審議した。

・第34回運営委員会
日時：平成18年4月13日(木) 12:00～12:30
場所：東京ビックサイト (春季全国大会開催会場) 6F 会議室
出席：13名 (在籍49名)

・第35回運営委員会

日時：平成18年9月21日(水) 12:15～13:00
場所：北海道大学高度教育機能開発総合センター 2階
N244会議室
出席：14名 (在籍48名)

5. その他の諸会合

支部長会議	4
財務理事会	2
総務理事会	1
特別員選考委員会	1
溶接学会賞受賞審査委員会	1
溶接学会貢献賞授賞審査委員会	1
溶接学会業績賞審査委員会	1
佐々木賞審査委員会	1
溶接学会論文賞・溶接学会論文奨励賞審査委員会	1
田中亀久人賞授賞審査委員会	1
溶接学術振興賞審査委員会	1
妹島賞授賞審査委員会	1
溶接学会研究発表賞審査委員会	2
溶接学会シンポジウム賞審査委員会	2
溶接学会ベストオーサー賞	1
溶接学会フェロー選考委員会	1

6. 会 勢

会員数 (平成19年2月末現在)

賛助員		団体会員 (口数)	個人会員					個人会員
会員数	口 数		名誉員	特別員	推薦会員	正 員	学生会員	合 計
383	953	48(53)	33	69	10	2,863	219	3,194

会員の移動

種 別	賛助員		正 員	学生会員	団体会員 (口数)
	会員数	口 数			
18年度初在籍数	393	974	2,949	232	52 (57)
入 会	7	9	104	61	—
退 会	17	21	206	53	4 (4)
口 数 変 更	増	—	—	—	—
	減	(5)	9	—	—
資 格 変 更	増	—	—	15	—
	減	—	—	*1	15
計	383	** 953	** 2,863	** 219	48 (53)

* : 特別員へ移行 (1名)
** : 退会保留中のものを整理 (正員2名, 学生会員6名)